

職場体験学習を受け入れました!

関東森林管理局東京事務所では、令和4年10月5日～6日に江東区立深川第八中学校の2年生2人を職場体験学習として受け入れました。江東区には森林がないため、八王子市にある高尾森林ふれあい推進センターにも協力をお願いしています。



↑コンパス測量について説明を受けます

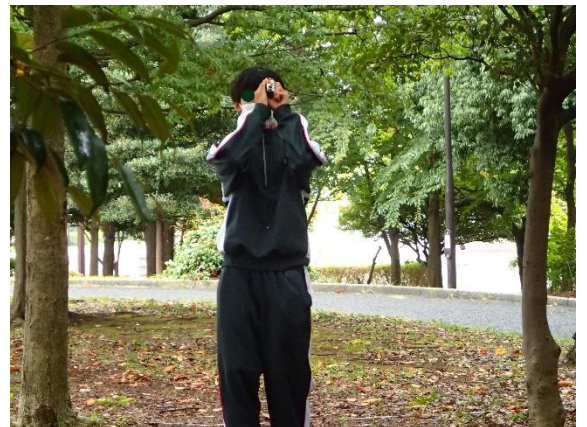
初日はコンパス測量と木の高さを調査する測樹体験を実施しました。生徒たちは事前に室内でコンパス等の操作を学び、いざ近隣の木場公園へ出発。公園内の木が多く立っている場所を森林に見立てて、測量と測樹作業を行いました。初めてとは思えないほどスムーズに作業を進め、特に測樹機器の操作に夢中になっていました。その後デスクワークに挑戦。パソコンを使って測量と測樹の成果をデータ入力し、精度が十分あることが分かりました。

次に、国有林の仕事と森林・林業全般、さらに江東区と縁のある木材との歴史について学びました。普段の生活ではあまりなじみのない林業を知る良いきっかけになったと思います。



測樹機器をのぞき込んで木の高さを測っています
→

←コンパスの据え付けに時間がかかりました



2日目は、中学校の教師も加わりました。高尾山の国有林において間伐や遊歩道の整備作業を体験する予定でしたが、あいにくの本降りの雨…。代わりに日影沢キャンプ場周辺の森林を散策しながら、森林の機能と役割を学び、丸太切りを体験しました。丸太切りでは、生徒自らが納得するまで何度も挑戦していました。次に室内でセンサーカメラに写った動物たちのチェック。森の素材を使ったクラフトも体験しました。東京の森林にもタヌキやニホンジカが生息していることを知り、新鮮な驚きだったようです。



2日間でしたが、この体験が将来の進路選択の時に役立つことがあればと願っています。

↑人工林の役割と整備作業についての説明を受けます

